

# 未来への協働

2023年6月28日(水) 第368号

発行所 未来への協働  
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX (06) 4306-3512  
郵便振替 00940-8-213061  
Eメール mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

### 今号の主な内容

- 2面 辺野古新基地は頓挫する
- 3面 維新の政策理論「新しい公共」を斬る
- 4面 近代合理主義と反体制運動
- 5面 障がい者差別と命の値段
- 6面 続「琉球国と明治維新」

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



https://kyodomirai.org

## 新型コロナ 5類移行後も感染拡大 地域のネットワークが鍵に

厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」が6月16日に開かれた。新型コロナの「5類移行」後、初めての会合だった。4月から続く新規感染者数の増加傾向は、「今後も継続し、夏の間に一定の感染拡大が生じる可能性がある」との見通しを公表した。

会合では「5類移行直 感染者は約2倍」「感染者も増加傾向」「第9波後に比べると全国の感 ともに入院者、重傷の入り口」など、事態の深刻さを指摘する声も上がったが、座長の脇田隆字・国立感染症研究所所長は「感染拡大の規模を予想するのは難しい」として「第9波」についての評価は示さなかった。

資料提供：共同通信社

### 1 定点医療機関当たりの新型コロナウイルス感染者数

[全国約5000の定点医療機関から6月5～11日に報告されたデータの平均値]

北海道	6.47 (0.96)	石川県	6.58 (0.94)	岡山県	3.01 (1.13)	山梨県	3.01 (1.13)
青森県	3.47 (1.01)	福井県	3.95 (1.27)	山梨県	3.92 (1.28)	山梨県	3.92 (1.28)
岩手県	4.87 (0.76)	福山県	5.68 (0.93)	山梨県	4.40 (1.34)	山梨県	4.40 (1.34)
宮城県	5.10 (0.96)	山形県	4.64 (0.93)	山梨県	4.43 (1.38)	山梨県	4.43 (1.38)
秋田県	2.62 (0.72)	山形県	5.49 (1.04)	山梨県	3.70 (1.32)	山梨県	3.70 (1.32)
山形県	4.26 (0.86)	山形県	3.77 (1.05)	山梨県	3.72 (1.26)	山梨県	3.72 (1.26)
福島県	3.96 (1.23)	山形県	6.28 (1.17)	山梨県	3.48 (1.42)	山梨県	3.48 (1.42)
茨城県	4.97 (0.99)	山形県	5.65 (1.25)	山梨県	5.76 (1.36)	山梨県	5.76 (1.36)
栃木県	3.50 (0.99)	山形県	3.12 (1.26)	山梨県	5.49 (1.16)	山梨県	5.49 (1.16)
群馬県	3.68 (1.20)	山形県	4.13 (1.18)	山梨県	4.46 (1.06)	山梨県	4.46 (1.06)
埼玉県	6.51 (1.13)	山形県	4.33 (1.30)	山梨県	5.43 (1.53)	山梨県	5.43 (1.53)
千葉県	6.46 (0.97)	山形県	3.28 (1.13)	山梨県	3.40 (1.14)	山梨県	3.40 (1.14)
東京都	5.99 (1.13)	山形県	4.64 (1.03)	山梨県	4.14 (1.37)	山梨県	4.14 (1.37)
神奈川県	5.03 (1.15)	山形県	3.73 (1.34)	山梨県	7.37 (1.38)	山梨県	7.37 (1.38)
新潟県	5.49 (1.14)	山形県	4.28 (1.01)	山梨県	18.41 (1.17)	山梨県	18.41 (1.17)
富山県	4.21 (1.26)	山形県	2.76 (1.21)	山梨県		山梨県	
新規入院者数 [実数]	4330 (1.05)	全国	5.11 (1.12)				

※ は感染者数、単位は人、( )内は前週からの倍率、厚生労働省のデータに基づく

力所から、外来6万4千カ所、入院8千2百カ所が増やす方針を示し、都道府県に働きかけている。朝日新聞の各知事へのアンケート調査では、「達成できる見込み」との回答は5割超、「わからない」が4割前後に上った。(小池都知事は無回答)。

冬までの目標達成でこの状況なのだから、夏から秋に「第9波」が来たら場合はたいへん厳しい事態が予想される。私が勤務する介護現場も、もちろんその渦中に巻き込まれる。だが、厚生労働省優先の岸田政権と厚労省から、医療と介護を取り戻すことが切実に求められている。

この問題の根本には「感染症法」がある。感染症学の上昌広博士は、戦前、感染症対策は内務省衛生警察が担当していた。当時の雰囲気をご理解いただけたら。戦後、感染症法は廃止し、基本的人権を保障した形で新しく立法すべきだった。ところが、感染症法の雛形は、そのまま生き残った。この結果、現行の感染症法は、エボラ出血熱や鳥インフルエンザのような強毒な病原体が侵入した非常事態に対応すべく、厚労省などの関係者に強い権限を与えてきた。いわば戒厳令のような存在だ。

6月21日に会期を終了した第211国会を、ジャーナリストの青木理氏は報道番組で「戦後最悪の国会と呼んだ。まったくその通りだ。」

6月16日には、当事者の声を無視して「LGB理解増進法」が成立し、自民党の西田昌司議員は「国が指針を示すことになった。現状で、地方や民間団体が過度な方向に走らないよう歯止めをかける。そのための道具としてLGB力とは中国を敵国と想定

国家を最優先する現行の感染症法体制では住民の命や権利は守れない。必要なのは地域の住民と医療従事者が主体となった医療・介護ネットワークの強化である。(小柳太郎/介護ヘルパー)

5月31日には、原発の運転期間を60年超に延期するGX脱炭素電源法が成立した。福島原発事故の収束の目的が立たない中で「原発回帰」へ舵を切った。また政府は今夏以降に核汚染水の海洋投棄を強行するつもりだ。

「日本は民主主義国なのか 史上最悪の国会」が閉会

た。この法律は「差別の禁止を求める動き」を制限するためのものなのだ。極め付けは難民の強制送還を簡単にする入管法の改悪(6月9日成立)であり、防衛財源確保法(16日成立)である。後者は軍事費総額43兆円を5年間で確保するためのもの。これで日本は米中に次ぐ、世界第3位の軍事大国となる。そこで目指している敵基地攻撃能力とは中国を敵国と想定

「障害者」「健常者」と分けて「支援が必要なもの」というのはいいように思う▼「支援が必要な人」が必要な支援を受けられる、そんな国が理想だ▼日本は障害者権利条約を2014年に批准している。そして日本政府の取り組みについて連の権利委員会から勧告(2022年)が出ている。みんな同じ人、この考えで勧告を実現してもらいたい。(民)

### 扇状地

障害者という言葉が差別用語だといわれるようになって久しい。「を」つけて「障害者」としてみたり、害をひらがなに

「扇状地」とは、扇状地は傾斜する

「扇状地」とは、扇状地は傾斜する

「扇状地」とは、扇状地は傾斜する

「扇状地」とは、扇状地は傾斜する

焦点

# 辺野古新基地は頓挫する

北上田毅さん(沖縄平和市民連絡会)に聞く(上)

辺野古の工事状況に詳しい北上田毅さんが、大阪、神戸で「辺野古はどうなっているか」「どうなるかを話した。その要旨を紹介する。(文責/本紙編集委員会)

辺野古の工事の状況は、年々もう一押し！ 辺野古。新聞だけ見ても、凄まじい。もちろん抗議行動からどうなるのか。防衛局による県への設計変更申請をめぐる裁判は最終局面を迎えている。「承

認から12年で供用開始できる」というのが政府案だが、実際はそれどころではない。大浦湾の軟弱地盤、美謝川の付け替え工事、活断層など。仮に、

できるとしても15年、20年かかる。米の軍事力が強化されていく。南西諸島の軍事基地化、ミサイル配備の問題。設計変更振り出しに



辺野古新基地と大軍拡に反対、集会とデモ(6月4日、神戸市内)

「辺野古から見た沖縄の軍事要塞化」という北上田毅さんの報告、講演があった。「埋め立て承認からまもなく10年。辺野古は今、どうなっているのか?」「軟弱地盤、土砂の採掘問題など、どこまでいっても完成しない。辺野古は頓挫する」と話した。午後から「岸田政権の大軍拡に反対!」のデモ行進。繁華街では振り返る人も多かった。午後の集会、デモは市民デモと憲法共同センターが共催した。



きたうえだ・つよし  
1945年生まれ。沖縄平和市民連絡会。元土木技術者として高江ヘリパッドや辺野古新基地建設などに反対し運動する。辺野古では抗議船にも乗る。情報公開で大浦湾の軟弱地盤を見つけ摘発。『高江が潰された日』(共著、沖縄平和サポート、2018年)ブログ「チョイさんの沖縄日記」など。

大浦湾の工事は一切できない状況になっている。弾薬庫の整備。美謝川に

工事には、公有水面埋め立て法による。一から地盤改良工事の設計変更工事をやり直すという、振り出しに戻っている。

辺野古側の埋立て工事は一応進んでいる。辺野古側は、防衛局が4カ月ごとに進捗状況を発表する。今国会で防衛省へ議員ヒヤリングしたとき、

「3月末で全体の14%と答えている。辺野古側は、ほぼ94%。7月頃には、埋め立て工事は終了するはずだ。

ところが辺野古側の1、2工区でさらに100万㎡の埋立て工事を入札している。防衛局は「辺野古側の地盤沈下の予備土砂だ」とごまかすだろう

が、おそらく辺野古側への「土砂仮置き」だ。設計変更が承認されたら、大浦湾の埋め立てに使用する土砂の先取りだ。

難工事と活断層  
今、工事の中心は美謝川切り替え工事と辺野古ないのかも疑わしい。

大浦湾側には長大な岸壁がつくられ、米軍の大型艦船が入港できる。滑走路の横に弾薬積み込み箇所もつくる。普天間基地と全く性格の違う米軍、自衛隊の新基地として使われる。そのための弾薬庫の改修工事である。防衛局は、「一刻も早く普天間の危険性を排除する」と言っていたが、防衛省の役人の中には「本件工事だけで11年から15年かかる」「読売新聞スクープ」と。官邸側の「10年以内には抑える」という意向で9年になっている。20年4月に設計変更が出され、12年すれば完成するはずだが、あくまで知事が設計変更申請を承認するはずだが、それが無視して作業する時があり、現場で阻止、監視活動を行っている。私たちは、地域の環境問題としても取り組んでいる。

川切り替え工事と辺野古ないのかも疑わしい。

弾薬庫の整備。美謝川には、キャンフシユワブがダムがある。そこから大浦湾の埋め立て区域に流れ込んでいる。大浦湾を埋め立てようとする、

この川がある限りできない。防衛局の計画では、北側の国道に沿って新しく水路をつくり、国道を横断し暗渠で渡り埋めて区域の奥の方に新しく水路をつくる。これも軟弱地盤があり、かなりの難工事で大幅に遅れている。

辺野古断層が走り、活断層といわれている。辺野古弾薬庫の改修工事もある。海兵隊の弾薬庫は、地下にドーム型に並んでいる。15ほど弾薬庫があり、米軍・海兵隊の全ての弾薬を扱う。ここが麻痺すると沖縄の海兵隊が機能しなくなる。復帰前には、核が置かれていた。弾薬庫の側に米兵の宿舎があるが、いまでもシェルターが設置されている。今、本当に核が

する見込みはなくなっている。仮に辺野古新基地ができれば、沖縄の米軍、自衛隊の一大拠点になる。辺野古に固執することにより、逆に普天間の危険性は永久に固定化される。「辺野古が完成しても」返してくれる保証はない。米軍は、那覇空港など3000メートル滑走路がある空港を提供しないかぎり返さないというのが条件だ。

名護市から美ら海水族館、その途中に本部・塩川港、手前に安和棧橋がある。付近の山は削り取られ、標高350メートルくらいの山がほとんど平地になった。ダンプの公害問題も起こっている。石、砕石ではなく赤土交じりの粘土だから粉塵が舞い上がる。雨が降ればダンプから濁水が流れ、道路の側溝から海に流れ込む。乾燥すると粉塵になる。管理しているのは沖縄県。「雨が5ミリ降れば作業を中止」と確認させているが、それを無視して作業する時があり、現場で阻止、監視活動を行っている。私たちは、地域の環境問題としても取り組んでいる。

普天間代替でなく  
巨大な新基地  
大浦湾側に長大な岸壁がつくられ、米軍の大型艦船が入港できる。滑走路の横に弾薬積み込み箇所もつくる。普天間基地と全く性格の違う米軍、自衛隊の新基地として使われる。そのための弾薬庫の改修工事である。防衛局は、「一刻も早く普天間の危険性を排除する」と言っていたが、防衛省の役人の中には「本件工事だけで11年から15年かかる」「読売新聞スクープ」と。官邸側の「10年以内には抑える」という意向で9年になっている。20年4月に設計変更が出され、12年すれば完成するはずだが、あくまで知事が設計変更申請を承認するはずだが、それが無視して作業する時があり、現場で阻止、監視活動を行っている。私たちは、地域の環境問題としても取り組んでいる。

今、工事の中心は美謝川切り替え工事と辺野古ないのかも疑わしい。

米軍リーダー基地撤去  
6月10日、京丹後市  
6月10日、4年ぶりに京丹後市で、米軍経路叩通信所前で現地集会が開催された。主催は米軍Xパンドレーダー基地反対・近畿連絡会。100人が参加した。

集会では、京丹後市議の永井友昭さんが現地状況を報告。昨年11月に京丹後市内で、米軍属の運転する車両に地元男性が怪我をさせられる交通事故が発生。ところが、防衛省は、京丹後市に「軽微な物損事故」と報告していた。中山市長が防衛相に抗議する事態になった。日米地位協定では米軍に事故の報告をする義務はない。日米関係の本質がここにも表れている。

集会後、参加者は基地周辺をデモ行進、自衛隊と米軍の基地前での抗議のシュプレヒコールで締めくくった。



集会後、参加者は基地周辺をデモ行進、自衛隊と米軍の基地前での抗議のシュプレヒコールで締めくくった。

## 『はだしのゲンが見たヒロシマ』上映会

◇とき: 7月16日(日) 14:00  
◇ところ: 尼崎・小田北生涯学習プラザ  
(JR尼崎駅北側、国道を東へ信号2つ目)  
◇資料代 500円  
主催: ききたいつなげたい 8・6ヒロシマ実行委員会  
e-mail: kikitaiunagetai@yahoo.co.jp

漫画『はだしのゲン』が被爆とその後を振り返りながら、原画とともに証言する。漫画家をめざし1961年に上京。「売れない漫画原稿を持って出版社を回った。お茶が出されたが、ぼくが飲んだ湯呑みを誰も触らない。放射能がうつると思われた」と話していた。



closeup

# NPMで地域が衰退

新しい公共経営

今年4月の統一地方選で特に目立ったのは、「維新の会」の伸長である。この現象をどう見るのかをテーマにした研究会が京都市内で開かれ、龍谷大学の村澤真保呂教授が講演した(6月3日)。

「大阪人気質」の変化

村澤さんは、2010年を前後して大阪で巻き起こった異常なまでの「橋下徹人気」の原因として、大阪人の気質(メンタリティ)の変化に注目する。かつて「なにわっ子気質」といえば、「反権威的」「いいかげん」「ふまじめ」「打算的」と言われてきたが、一方で大阪は「関西地方のなかでも貧しい地域が多い反面、助け合いの気質と下町人情」が残っている地域だった。そのような大阪人気質とは正反対の自由主義的な弱肉強食のメンタリティを全面に押し出した橋下徹と「維新の会」を熱烈に支持するようになったのはなぜか。転機になったのは、80年代から90年代、とくに

バブル経済の全盛期に大阪を襲ったグローバル化の波だった。「義理・人情」や人間関係に依存し、外から見れば「がめつい」と表現される大阪商人の独特のビジネス・スタイルは、「グローバル・スタンダード」のかけ声の下で駆逐され、大阪の大手企業も次々に本社を東京に移転していった。グローバル化に伴って他地域から流入してきた「新住民」とよばれる中高所得のサラリーマン層は、しばしば「旧住民」との間で感情的な対立に直面した。「旧住民」は自治会などをつうじて政治にパイプを持っており、彼らの利害は公共事業、地域の商業振興策、人権政策などに反映されやすかった。一方、政治にパイプを持たない「新住民」にとってそうした政策からは、まったく恩恵が感じられないどころか、むしろ「自分たちが納めた税金が無駄遣いされている」という感覚を与えるものでしなかった。こうした疎外感を抱いた

サービスを実現し、利益を還元することになる。そのために、民営化を活用した徹底した合理化、トップダウンによる迅速な意思決定、徹底的な業績主義、公務員の削減を推し進める。NPMでは議会は必要とされない。また組合、市民団体、自治会といった中間団体の利益は無視され、相手にされるのは「個人」だけである。

維新は、この層をターゲットにしたのである。維新が掲げる「改革」の正体を理解するための力ギとなるのが、1980年代後半から米国で隆盛となった「新しい公共経営 New Public Management」(NPM)という政策理論である。それは自治体を企業、首長を社長、市民を株主になぞらえる新自由主義の政策思想だ。自治体の目的は、住民から徴収した税金を使って効率の良い

持続可能性を具体的に実践していくことが必要だという。それは地域内での雇用や地産地消の促進であり、地域内メディアを通じたさまざまな地域の課題や生活情報を共有し、次世代の育成を地域で共に考えていくことだという。こうした取り組みが具体化していけば、「維新を支持しよう」という人は出てこなくなるのだ。(香月泰)

「自治体は企業」

維新は、この層をターゲットにしたのである。維新が掲げる「改革」の正体を理解するための力ギとなるのが、1980年代後半から米国で隆盛となった「新しい公共経営 New Public Management」(NPM)という政策理論である。それは自治体を企業、首長を社長、市民を株主になぞらえる新自由主義の政策思想だ。自治体の目的は、住民から徴収した税金を使って効率の良い

6月6日、戦争あかん！ ロックアクションで、共同代表の山下けいさんが、4日に投票が行われた堺市長選挙で反維新勢力の統一候補が落選する残念な結果に終わったことが報告された。投票率も下がっていた。堺1000人委員会

「市民アンケートに意見を」

6月3日、エルおおさか本館6階大会議室(大阪市中央区)で「教科書全国集会2023 琉球弧の軍事要塞化と戦争教科書」が開かれました。集会では北上田毅さんが

に下がってしまった。どこに希望があるの」と友人に言われたが、一つだけ希望と言えるのは堺の1000人委員会の存在だ。自分たちで考えて

愛国心、歴史修正主義

今年文科省の検定の観点は次のようなもので、道徳では、愛国心を刷り込むために「日本スゴイ」を記述させる。社会科では、歴史の真実を隠すために、「従軍慰安婦」の記述から「従軍」を削って、ただの「慰安婦」にする。領土問題や自衛隊の海外派兵などでは日本政府の主張だけを教える。イラク派兵は激戦地への派遣だったのに、平和的なボランティア活動だったようにイメージさせる。災害支援の自衛

## 堺市長選の教訓を活かす

く、市民が力を合わせて、投票をもとめる署名運動から政治に関心をもち、1000人委員会と出会うと堺市長選挙にも積極的にかかわったこと。大阪は維新に政治を牛耳られ、6月9日の市会で議員削減案が通るといふ大変な状況にあるが、だからこそ、このように市民が立ちあがる状況も生まれている。あきらめず闘おうと改めて思った。(堀ちえこ)

隊の写真。教科書会社が一発で検定合格するように文科省の意向を反映させようとしています。

2017年、安倍政権の時に初めて道徳教科書が出てきましたが、この6年間で大きく変わりました。当初は、道徳を教科化したという政府の意向に迎合した教材が多かったのですが、大阪の会が批判した教材がかなり消えました。市民の見・世論を教科書会社も無視できなかったのです。市民アンケートや要望書は教育委員会の人だけでなく、教科書会社の人も見ているのです。保健体育では世論の力で、学習指導要領にはな

## 教科書展示会に行こう

6月3日、エルおおさか本館6階大会議室(大阪市中央区)で「教科書全国集会2023 琉球弧の軍事要塞化と戦争教科書」が開かれました。



大阪市住之江区の教科書展示会

2011年に東大阪市の公民教科書を採択してから13年間、教科書運動の力でフジ住宅の不正アンケートを暴いたり、議会やマスコミに訴えたりしてきました。その結果、育鵬社公民教科書は2020年に泉佐野市が採択したのを除いて、採りさせませんでした。泉佐野市では教育長が市民アンケートや要望書を教

(佐野裕子)

論考 新たな社会主義は可能か (第4回) 掛川 徹

# 近代合理主義と反体制運動

反体制運動もまた、所在が国家機構の掌握にニュートン的な世界観の「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

## ヘーゲルとマルクス

マルクスは、ニュートンの宇宙観では説明できない直す必要がある。「われわれの課題は、過去の200年間の社会科学の業績を、まったく初めからではないにしても、書きかき直さなければならない」と述べている。

## 自然科学の新しいパラダイム

マルクスがどこまで近代思想の申し子だったのかという議論もあるが、スターリンが継承した「公認マルクス主義」では、「社会発展の法則」「社会主義の必然性」「党は


## 歌と踊りではなやかに

ピースフェスタinおおさか(第1回目)が5月21日の日曜日、扇町公園で開催された。暑くて熱中症が心配になった。今回は歌と踊り中心の韓国式の集会である。舞台のトラックの前にブルーシートを敷き、その

## 映画『差別』の紹介

映画『差別』の紹介。2月に韓国で封切られ、読みたい。(か)／まい

**生命とは何か**  
物理的に見た生細胞  
シュレーディンガー 著  
岡 小天・鎮目基夫 訳



量子力学を創造し、原子物理学の基礎をつくった著者が追究した生命の本質——分子生物学の生みの親となった20世紀の名著。生物の現象ごとに遺伝のしくみと染色体行動における物質の構造と法則を物理学と化学で説明し、生物におけるその意義を究明する。負のエンタロピー論など今も熱い議論の渦中にある科学者の本懐を示す古典。

青 946-1  
岩波文庫

シュレーディンガー『生命とは何か 物理的に見た生細胞』岡小天・鎮目基夫 訳／岩波文庫 2008年／720円・税別

し、この違いが見かけのものであり、自然は本来均質かつ単純であるという考えを拒否する」(プリゴジン『混沌からの秩序』、以下P)。残念ながら、ヘーゲルが依拠した当時の自然科学の研究結果はそのほとんどが間違っていることが証明され、ヘーゲル哲学が意図したことも忘れ去られたとプリゴジンは言う。

マルクスがヘーゲルを「階級の対立とその止揚」という論理に強引にあてはめることでドクマになってしまったと思

常には正しい」といった表現のなかに、機械的自然論、自然を利用する人間、宇宙を支配する単一の法則、すべては予測可能だという決定論など、近代合理主義の根幹がにじみ出ていることは確かである。

「無秩序から秩序へ」という別個の系が自然界に存在するはずだと論じた(シュレーディンガー『生命とは何か』岩波文庫)。かつてヘーゲルが弁証法を用いて記述しようとした、この「無秩序から秩序へ」という系の領域は、今日では「自己組織化」「複雑系」などと呼ばれ、著しい発見が自然科学の分野でなされているという。「物質はもはや機械論的世界観で述べられたような受動的な物体ではなく、物質

には自発的な活性が伴っている、と考える新しい物質観」(P)が生まれ、自然には混沌の中から生命的な秩序を自発的に生み出す内的論理が備わっているという認識は、いずれは社会科学全般に巨大な波及をもたらすはずだとプリゴジン

は言う。実際、ウォーラー・スタインの「世界システム論」は、かつての社会科学がニュートン力学の方法論を模倣したように、自然科学の新しい成果を彼なりに咀嚼し、適用したものである。

限界に達した資本主義が自然科学の分野でなされているという。物質はもはや機械論的世界観で述べられたような受動的な物体ではなく、物質

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

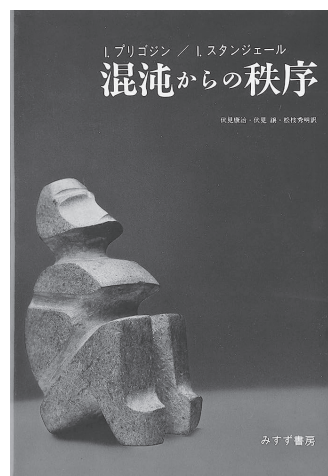
「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。



1. プリゴジン / 1. スタンジェール『混沌からの秩序』伏見康治他・訳 / みすず書房 1987年 / 4800円・税別

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。



「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。

「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。「真の政治権力の影を大きく受けていない」。



トガシさんの「沖縄便り」(59)

続「琉球国と明治維新」(上)

日中貿易の振興を図る 知事は6日に団を離れ、任意団体、日本国際貿易促進協会(河野洋平会長)の訪中ミッション(約80名)が7月3日、北京に向日出発する。沖縄県の玉城知事も参加し、国家指導者と会談する。玉城

福州の琉球館の波紋

(写真提供: 那覇市歴史博物館)

「私(習近平氏)が福州(福建省の省都)で働いていたころ、福州には琉球館(写真)と習シリーズ。琉球墓があり、(中国と)琉球との往來の歴史が深いことを知った。当時『閩人三十六姓』

が琉球に行っている」と話したという記事を載せたそう。日本では「波紋が拡がったらしい。たぶん、日本のある筋の人たちが、習主席が「琉球は中国の属国だった」と言うのではないかと心配していることだろう。もちろん琉球は中国の属国ではなく独立していたが、日本の方にはあまり国際社会に知られていない「琉球併合」の事実がある。そこに飛び火することを恐れたのではないかと。今回も「あまり知られていない琉球の歴史」シリーズ。 明治8年(1875年)、後に処分官となる松田道之が琉球側の行政トップである三司官と会い、中国の清と関係を絶ち、日本暦を用い、職

制を改める(王制をやめ、日本の他府県並みの職制にする)という三つの改革を迫った。今回は、32歳になっていた尚泰王が後日、外国人ジャーナリストに述べたことを紹介する。

「明治5年(1872年)、わが王府は鹿児島県知事の命に従い東京に維新慶賀使を派遣したところ、思いもよらず日本の天皇から琉球国王を琉球藩王に任じ、琉球国を琉球藩となして日本の直接統治下に置くとの勅令が下った。鹿児島県知事

日本からの冊封を拒否

冊封とは「中国皇帝の下にその国の王であるとお墨付きを貰うこと」である。鹿児島県の知事は、当時参事と言っていたように記憶しているが、琉球国が薩摩藩のくびきにつながれていた腐れ縁があり、明治になっても彼らが琉球国に差配し

は(琉球国が)命令に服従する旨の文書を正使伊江王子に手渡した。正使は「われわれは清国からすでに冊封を受けており、今さら日本から藩王の冊封を受けるわけにはいかない」と断固拒否の意志を伝えた」

「松田妙子さんを偲ぶ」を読み、あらためて松田さんのことを感慨深く思い出しました。松田さんとは何回かお話ししたことがありますが、彼女が森永ヒ素ミルクの被害者とは知りませんでした。連載を読んでいる時に、たまたま山田真さんの『闘う小児科医』を読んでいた。山田さんは、あの大学闘争のころ東大医学部の学生でした。青年医師連合のメンバーでもあったそうです。その本の中で山田さん

が、森永ヒ素ミルク事件について言及しています。ぼくは障害者運動にかかわっている中で、何か森永ヒ素ミルクの被害者の知り合いもいました。大阪の天満にあった「ひかり協会」にも行ったことがありますが、森永ヒ素ミルク事件について概要を知ることなく、これまで過ぎてしまっていました。

事件は、1955年に起こっています。森永乳業徳島工場で生産されたドライミルクに、古い牛乳を溶かす安定剤として第2リン酸ソーダを添加した。事件は、1955年に起こっています。森永乳業徳島工場で生産されたドライミルクに、古い牛乳を溶かす安定剤として第2リン酸ソーダを添加した。事件は、1955年に起こっています。森永乳業徳島工場で生産されたドライミルクに、古い牛乳を溶かす安定剤として第2リン酸ソーダを添加した。

「戦争をしてはならない」 明石、神戸で戦跡めぐり

「あかし戦跡めぐり」(ピースネット明石)が行われ(6月3日、4日)、之碑(写真上)がある。78年前の明石空襲を語り継ごうと26人が参加した。



山陽電車の西新町駅北口すぐ西に「空襲犠牲者之碑」(写真上)がある。78年前の明石空襲を語り継ごうと26人が参加した。明石車庫工場の空襲被害と「空襲犠牲者之碑」建立の趣旨を聞いた。慰霊碑は戦後33年の8月に除幕、会社と労働組合連名による「空襲犠牲者に捧げる」と碑文に記される。犠牲になった30人と名前のわからない1人、計31人の名前が刻まれている。

川崎航空機工場と関連

続いて平安時代からの由緒あるお寺、「密蔵院」を訪ねる。ガイドの牧野満徳さんからお話を聞き、戦没者を慰霊する大地蔵を見た(写真下)。望海浜公園から明石川をさかのぼる。河口近くに水上艇の工場があったそう。大観小学校南の地下トンネルは、防空壕として使われた。市内の高校新聞部の高校生も同行、取材し「教科書では知ることができなかった。戦争を語り継ぐことの大切さを感じた」と話していた。

50人が参加し、1945年5月11日の東灘の空襲

「ひとこと」は4面に掲載



跡を巡った。JR甲南山手駅から近くの森神社の赤鳥居へ。田辺真人さん(園田学園女子大名誉教授)は、「この辺りは、当時は田畑が広がる漁村だった。大きな赤い鳥居が川西航空機甲南製作所を攻撃する米軍機の目印になった」と説明した。少し西、旧本庄村の墓地にある空襲犠牲者慰霊碑。小城智子さんから説明を聞き、深江にある生活文化資料館で戦争資料の展示を見学した。そのあと本庄中学校へ。藤本吉江さん(87歳)、長岡正明(84歳)さんから戦

争体験を聞く。藤本さんは「防空壕の中の様子、聞こえる音が怖かった。お母ちゃん、死んだらあかん」と叫んだと話した。今はテレビに戦争がリアルに映し出される。78年前、日本にも実際に戦争が空襲があった。「風化させない。戦争をしてはならない」と、多くの人たちの手で慰霊碑や遺跡が残されている。今の市街地の姿から想像するのは難しいが、それらを巡り反戦の想いを強くした。(江戸信夫)

まい・しよっと (54)



(撮影: 5月、神戸市内/仁)

高い木の枝に引っかかった傘。4月から5月にかけて、「春の嵐」「メイストーム」と呼ばれる強風が吹く。台風並みのこともある。